

1-12 まつもと市民芸術館での祝祭式典の開催について

1 趣 旨

「山の日」の制定趣旨の一つ「山の恩恵に感謝する」ことを具現化するため、市民が参加して身近な山の恩恵を伝える・感じるができるプログラムにより、初めての「山の日」を迎えるお祝いの雰囲気を感じられる華やかな式典として実施した。

2 日時及び場所

(1)日時 平成28年8月11日(木)午後0時50分から4時30分

(2)場所 まつもと市民芸術館

3 参加人数 約800名

国会議員、行政機関、県内市町村長、県・市議会議員、協賛企業関係者、地元(地域)関係者、一般公募招待者 等

4 概 要

(1)プロローグ

【招待者・参加者入場】

祝祭式典に参加される方の入場時間に合わせ、ケーブルテレビで全国にライブ中継した記念式典の様子を上映した。



参加者入場の様子



入場時間に記念式典の様子を上映

【プロローグ映像】

日常生活で何気なく受けている「山の恩恵」に対する気づきを促し、山と人との関係を見つめ直すきっかけとして、式典への導入となる「山の恵みに生かされて」映像を上映した。

また、「山の日」の制定経過を振り返る「はじめまして山の日」も上高地記念式典と同様に上映した。



「山の恵みに生かされて」



山の恵み「水」と「水を活かした暮らし」

(2) 式典行事

【主催者あいさつ】

中島恵理実行委員会副会長（長野県副知事）の「「山の日」はじめのことば」によって式典行事の始まりが告げられた。

会場全体の「国歌斉唱」の後、菅谷昭実行委員会会長からの「主催者あいさつ」、続いて阿部守一実行委員会名誉会長の「歓迎あいさつ」があった。



【「山の日」の歌」表彰式】

一般財団法人全国山の日協議会が公募した「山の日」の歌」作詞者への表彰を行った。

ポップス部門、演歌部門それぞれの最優秀賞と優秀賞の計4作品について表彰し、磯野剛太実行委員会運営委員長から表彰状と賞金（目録）が各受賞者に授与された。

ポップス調の最優秀賞作品「山はふるさと」は、合唱曲として相応しい作品であったため、式典プログラム「おめでとう山の日」の中で波田少年少女合唱団により披露された。

同じくポップス調の優秀賞作品「山が笑ってら」は、松本城公園で大会期間中開催した「信州四方山祭り in 松本城」で披露された。



「山の日」の歌」

- 総合プロデューサー 船村 徹 氏（日本作曲家協会最高顧問）
- 最優秀賞（ポップス部門） 「山はふるさと」 吉井 省一さん
- 最優秀賞（演歌部門） 「山・美しき」 関根 和夫さん
- 優秀賞（ポップス部門） 「山が、笑ってら」 浦山 直己さん
- 優秀賞（演歌部門） 「四季の山」 川井 倭文子さん

【おめでとう「山の日」】

「山の日」の制定を集った皆で祝い、「山の恩恵」を多くの人々が再認識して、「山と人との関係」を未来へと引き継ぐ。これを「山を魅せる」「山に授かる」「山と共に、未来へのハーモニー」のそれぞれ異なる演出を組み込んだ3シーンからなる複合芸術作品で表現しました。進行役のナビゲーターは、俳優の石丸謙二郎さんが務めた。



石丸謙二郎さん

【シーン① 山を魅せる】「山の日」誕生記念舞踏

松本市出身で世界的にも有名なバレエダンサーである二山治雄さんと、二山さんが所属する白鳥バレエ学園の33名のダンサーが「山の日」の誕生を祝い「山」を舞踏で表現した。



春：花の精と鳥の精



夏：太陽と青空



秋：紅葉



冬：山の静けさ・厳しさ



フィナーレ：全ての山の精

【シーン② 山に授かる】「山の恩恵」と共に暮らす人々の声

「山に授かる」と題し、大会ロゴマークにちりばめられた木、川、花、鳥、蝶、親子の各モチーフに因む人々からメッセージをいただいた。



ロゴマークとモチーフ

【木】 三原栄一さん（(有)アトリエエーワン代表）

神奈川県湘南地区では住宅の外壁に古くから木材が使われています。山から離れている都市部の人たちも山の恩恵を授かっているのです。

【川】 大久保憲一さん（根羽村長、根羽森林組合長）

長野県根羽村と愛知県安城市の間では30年間の森林整備協定を結んでいます。「水を使うものは自ら水をつくれ」先人の言葉を大切に清流の素晴らしさを発信していきます。

【花】 唐澤和廣さん、西条雄真さん、三浦輝さん（上伊那農業高校）

シカに食べられてたった2株まで減少したアツモリソウ保護のため、人工増殖による取り組みを始めました。

【鳥】 井野春香さん（猟師、けもかわプロジェクト代表）

年間何十万頭も捕獲され、その多くが利用されることなく埋められているケモノたちが暮らしの中で生きていけるモノとなるよう、活動を続けていきたいと思ひます。

【蝶】 永田千恵子さん（森林倶楽部 21 代表）

長野県安曇野市長峰山に「蝶の森」を整備しています。多様な自然環境の特徴を活かした里山づくりの結果、かつての里山の様な蝶や植物がよみがえってきました。

【親子】 今井通子さん（登山家、医師）

現代社会において人間は自然への対応能力を見失ひ、貧弱になっています。親子、家族みんなで知的好奇心旺盛で感受性豊かなたくましい子どもたちを復活させることが重要です

【シーン③「山と共に、未来へのハーモニー」】

山と人のつながりを子供たちの歌に託し、未来へと繋げた。

曲目：山はふるさと（山の日の歌最優秀作品）
美しいチロル



【つなげていこう「山の未来」リレーセレモニー】

大会を象徴し、登山や山仕事など山での活動に不可欠な「山を象徴するアイテム」の帽子。「山」の文字と山を取り囲む自然をデザイン化した「山の日帽」を、今後各地で行われる大会に引継いでいくこととした。また「山の日帽」には、各大会のオリジナルピンバッジを付けていくことにしている。

贈り手：菅谷 昭 松本市長
受け手：金田 尊男 栃木県環境森林部長



【「山の日」結びの言葉】

坪田明男実行委員会副会長より祝祭式典行事の終わりが告げられた。



(3) エピローグ

初めて迎えた「山の日」を振り返り未来へと承継し、山と共に暮らしてきた人々の文化を伝えていく意味合いを持たせた大会のグランドフィナーレとなった。

【山のコンサート】

演奏：スズキメソード

曲目：ガヴォット

きらきらぼし変奏曲

ちょうちょう

フィオッコのアレグロ

ロングロングアゴー

子供の倅を



背景：山に感謝し、山の未来を考え、「山の日」を祝うメッセージ映像

【奈川獅子舞】

明治末に富山県南砺市から松本市奈川地区寄合度に伝わる市の無形民俗文化財で、村を荒らす大獅子と村人との格闘を表現する5演目のうち「切り返し」「薙刀」の2演目を演じた。

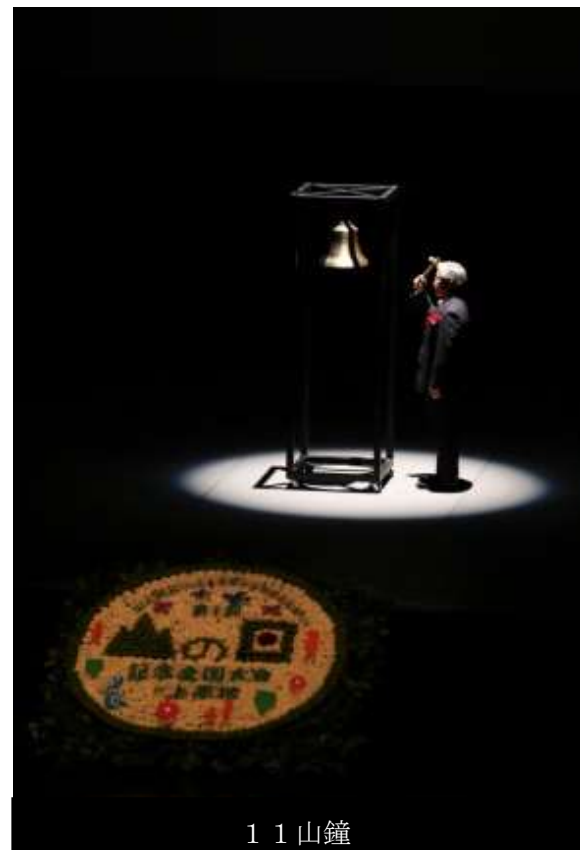
演出・出演：奈川獅子舞保存会



【山鐘（11山鐘）】

式典と大会全体の閉幕を告げる「山鐘」は、坪田明男実行委員会副会長が11回の鐘を撞くタイミングに合わせ、ひと撞きごとに込められた意義が会場のスクリーンに映し出された。記念式典の鐘の音とともに始まった初めての「山の日」は、鐘の音の響きが止むとともに終幕した。

| | |
|-------|----------------------|
| 第9山鐘 | 来年の大会の成功への思い |
| 第10山鐘 | 大会に参加された全ての方の幸せへの思い |
| 第11山鐘 | 明るく豊かな山の未来を子供たちに託す思い |



1-13 信州四方山祭り in 上高地の開催について

1 趣 旨

今大会の理念に掲げる山の日制定趣旨を広く浸透・定着を図っていくために、山と共に生きる私たち信州人として、国内外から長野県松本市に訪れる皆様に、信州の山の魅力や価値を、日常的な目線でわかりやすく伝えていくことを目的に、音楽や講演など様々なプログラムを活用し記念行事を開催する。

2 日時及び場所

日時：平成28年8月10日(水)午前11時から午後8時30分まで

平成28年8月11日(木)午後0時から午後3時30分まで

場所：小梨平キャンプ場、徳沢キャンプ場

3 参加者人数

約6,900名(観光客、登山者等)

4 行事概要

【8月10日】

○午前11時～午前11時45分(小梨平キャンプ場)

鈴木 啓助教授 「山の恵み、そして山と海とのつながり」

○午後1時～午後2時(小梨平キャンプ場)

北川 桜 「ヨーデルコンサート」

○午後7時45分～午後8時30分(徳沢キャンプ場)

小林 千穂 上高地「山の日」イブ ワインの夕べ「8.11プレトーク」

【8月11日】

○午後0時～0時30分(小梨平キャンプ場)

品川 聖 ヴィオラ・ダ・ガンバ Solo ～上高地への憧憬～

○午後0時45分～午後1時30分(小梨平キャンプ場)

芹 洋子 山のコンサート「山の歌うたごえコンサート」

○午後1時45分～午後2時15分(小梨平キャンプ場)

セイジ・サワリ松本フェスティバル ブラリアンサンブル「山のコンサート」

○午後2時30分～午後3時30分(小梨平キャンプ場)

小林 綾子&小林 千穂トークショー「8.11birthday 山の日トーク」

5 記録写真



「山の恵み、そして山と海のつながり」 鈴木 啓助



「山のヨーデルコンサート」 北川 桜



「8.11プレトーク」 小林 千穂



「ヴィオラ・ダ・ガンバ Solo」 品川 聖



「山の歌 うたごえコンサート」 芹 洋子



「山のコンサート」 セイジ・サワ松本フェスティバル・プラスアンサブル



「8.11Birthday 山の日トーク」 小林綾子&小林千穂

6 ブース出展

協賛企業等の山に関する取り組みなどの展示ブース 16 区画を上高地インフォメーションセンター横及びビジターセンター前に設置し、上高地を訪れた一般来場者にも山に関する情報や取組みに触れていただく機会を創出した。

7 ブース出展の概要

(1) 出展期間

平成 28 年 8 月 10 日 (水) 午後 1 時～午後 3 時

平成 28 年 8 月 11 日 (木) 午前 9 時～午後 3 時

(2) 出展者

| インフォメーションセンター横 エリア | ビジターセンター前 エリア | |
|--|---|--|
| (株)finetrack グリンデルワルト アルピコホールディングス(株) (株)モンベル 日清食品ホールディングス(株) | (株)カモシカスポーツ セイコーエプソン(株) 八十二銀行 信州大学 (一財)休暇村協会 イオンリテール(株) | (株)博報堂アイ・スタジオ 国土交通省 林野庁 松本市上下水道局 環境省 |
|  |  | |
| 5 ブース | 11 ブース | |

(3) 記録写真





㈱カモシカスポーツ



セイコーエプソン㈱



八十二銀行



信州大学



(一財) 休暇村協会



イオンリテール



㈱博報堂アイ・スタジオ



国土交通省



環境省



林野庁



松本市上下水道局

1-14 「木育キャラバン in 松本」の開催について

1 趣 旨

山の恵みである木材を使用した「木のおもちゃ」や「あそび」を通じて木育を推進し、木製品の良さを普及啓発することを目的に、「木育キャラバン」を開催

※「木育」とは、材料としての木の良さや人と木や森との関わりを学び、木材に対する親しみや木の文化への理解を深める活動

2 日時及び場所

日時：平成 28 年 8 月 10 日(水)午前 10 時から午後 5 時まで

8 月 11 日(木)午前 10 時から午後 4 時まで

場所：MI DO RI 松本（松本駅隣接施設） 2F フロア

3 主催等

主催：認定NPO法人グッドトイ委員会

共催：第1回「山の日」記念全国大会実行委員会、MIDORI 松本

4 参加者人数

900名

5 行事概要

積み木やままごとセットから大人も楽しめるパズルまで約 100 点を超える木のおもちゃによる遊び体験を実施

6 課題等

- 普段は山にあまり関心のない方に「山の日」の制定趣旨等をPR。
- 買い物に来た親子が木と触れる機会となった。
- 松本城公園で実施している信州四方山祭りへの誘客活動を実施。

〈参加者の感想〉

- プラスチックとは違う木のぬくもりを感じることができて良かった。
- 手作りの木のおもちゃに触れることで、身近な山の樹木に関心を向けるきっかけとなった。

7 記録写真



1-15 第1回「山の日」記念全国大会関連行事の開催実績について

1 趣 旨

市町村等が主催する山に関する行事を関連行事として位置付け、全国大会の情報発信の機会とし、「山の日」の制定趣旨の浸透を図るとともに、第1回「山の日」記念全国大会の大会理念を広く県内外に周知し開催機運を盛り上げた。

2 期 間

平成28年4月から同年12月まで

3 対 象

上記期間に開催され、予め実行委員会が承認した行事。

4 実 績 (H28.12.19 現在)

| 実施月 | 実施報告件数 | | | | | 計 |
|------|--------|-----|----|----|----|-----|
| | 東信 | 中信 | 南信 | 北信 | 県外 | |
| 4月 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 5月 | 1 | 13 | 2 | 2 | 0 | 18 |
| 6月 | 3 | 13 | 4 | 12 | 1 | 33 |
| 7月 | 3 | 15 | 12 | 11 | 1 | 42 |
| 8月 | 3 | 21 | 8 | 7 | 3 | 42 |
| 9月 | 5 | 8 | 4 | 4 | 1 | 22 |
| 10月 | 3 | 9 | 10 | 13 | 0 | 35 |
| 11月 | 1 | 3 | 0 | 3 | 0 | 7 |
| 12月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 期間もの | 2 | 12 | 2 | 4 | 2 | 22 |
| 通年 | 0 | 5 | 0 | 6 | 0 | 11 |
| 計 | 21 | 100 | 43 | 62 | 8 | 234 |

| | |
|---------------------|---------|
| 承認件数 | 340 件 |
| 実施件数 H28.12.19現在 | 234 件 |
| 参加人数 | 42.3 万人 |



1-16 第1回「山の日」記念全国大会ロゴマークの使用実績について

1 趣旨

第1回「山の日」記念全国大会の大会理念を象徴するロゴマークを効果的に使用し、山の日制定趣旨及び当該大会開催について広く周知することを目的とし、使用申請のあった者にロゴマークを提供した。

2 使用申請件数

110件（2016年12月19日 現在）

| 業種 | 件数 | 備考 |
|---------|-----|---------------------|
| 公共団体 | 28 | 国機関、地方自治体 |
| 報道機関 | 25 | テレビ局、新聞社、出版社 他 |
| 各種団体 | 18 | 一般社団法人、特定非営利活動法人 他 |
| 観光 | 10 | 観光協会、ホテル 他 |
| 製造 | 9 | 飲料・食品メーカー、木製品メーカー 他 |
| 美術館、博物館 | 4 | 美術館、博物館、記念館、資料館 |
| 教育、研究 | 3 | 大学、図書館 |
| 広告 | 3 | 広告代理店 |
| その他 | 10 | 運輸、郵便、百貨店 他 |
| 合計 | 110 | |

3 主な使用方法

- (1) チラシ、パンフレット、ポスター、その他掲示物等への掲載
- (2) 雑誌、広報誌、会報誌等への掲載
- (3) ホームページへの掲載
- (4) 新聞への掲載
- (5) 製作物品への貼付、印刷
- (6) テレビ放送での使用

4 使用例



左：パンフレット掲載
(松本市 健康産業・企業立地課)

右上：新聞掲載
(市民タイムス 2016年8月3日付)

右下：山の日制定記念乗車券セット
(アルピコ交通株式会社)